

校歌

作詞 長岡博男
作曲 鴛原利蔵

一 山科の 里の傳説は

今もなお 伏見の川に
たなごころ しみいるごとく

清き水 くめどもつきず
若人 われら
鋭き 叡智を

二 学校の 高窓にたち

肩くみて 遠くのぞめば
はろけくも 紫錦の空に

旗雲の 群れて翻べるを
若人 われら
胸に 希望を

三 澄みわたる 富樫の野づら

聳りたつ 梅章校の
香わしき 誇りにみちて

いざともに 鍛えんものを
若人 われら
意気と力を



沿革

石川県立金沢錦丘高等学校は、前身である旧制石川県立金沢第二中学校創立までさかのぼれば、100年以上の歴史と伝統を有する高等学校です。金沢第二中学校の規律ある進学校としての校風を継承しながら、全日制普通科の進学校として発展して今日に至っています。

平成16年度に併設型中高一貫教育校として県内初の県立中学校が併設され、県内最大規模の学校になりました。令和5年に創立60周年を迎える本校が新しい歴史を重ねるために、「弘毅篤学」の校訓を胸に「なりたい自分」を目指して挑戦し続けています。

